

○2015.7.15号 各地で防災集団移転促進事業の整備等が進んでいます（河北・雄勝・北上地域）

③ 市報いしのまき 平成27年(2015年)7月15日号

③ 名振地区

防災集団移転		復興公営住宅	
整備戸数	民間住宅専用宅地 8戸 復興公営住宅 17戸 合計 25戸	住宅名(名称)	名振住宅
完成時期	平成27年3月	形態・戸数	戸建・17戸
宅地供給開始時期	平成27年4月	構造	木造
		入居予定時期	平成27年10月ごろ

平成26年6月 平成27年4月 平成27年6月

④ 明神地区

防災集団移転		復興公営住宅	
整備戸数	民間住宅専用宅地 7戸 復興公営住宅 2戸 合計 9戸	住宅名(名称)	明神住宅
完成予定時期	平成27年8月	形態・戸数	戸建・2戸
宅地供給開始時期	平成27年9月	構造	木造
		入居予定時期	平成28年3月ごろ

平成26年7月 平成27年6月 平成27年6月

復興公営住宅	
住宅名(名称)	明神住宅
形態・戸数	戸建・2戸
構造	木造
入居予定時期	平成28年3月ごろ

⑤ 大浜地区

防災集団移転		復興公営住宅	
整備戸数	民間住宅専用宅地 6戸 復興公営住宅 2戸 合計 8戸	住宅名(名称)	大浜住宅
完成時期	平成27年3月	形態・戸数	戸建・2戸
宅地供給開始時期	平成27年4月	構造	木造
		入居予定時期	平成27年10月ごろ

平成26年7月 平成27年3月 平成27年6月

⑥ 熊沢地区

防災集団移転		復興公営住宅	
整備戸数	復興公営住宅 14戸	住宅名(名称)	熊沢住宅
完成時期	平成27年5月	形態・戸数	戸建・4戸
宅地供給開始時期	平成27年6月	構造	木造
		入居予定時期	平成27年10月ごろ

平成26年8月 平成27年6月 平成27年6月

明日へと響け復興のつち音

市報 いのまさ 平成27年(2015年)7月15日号(2)

各地で防災集団移転促進事業 の整備等が進んでいます (河北・雄勝・北上地域)

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介いたします。



復興公営住宅

住宅名(仮称)	月浜・吉浜住宅
市番・戸数	戸建・3戸
構造	木造
着工予定時期	平成28年2月ごろ

防災集団移転

整備戸数	民間住宅専用宅地	5戸
	復興公営住宅	3戸
	合計	12戸
完成時期		平成27年6月
宅地供給開始時期		平成27年9月

①月浜・吉浜地区



復興公営住宅

住宅名(仮称)	間垣住宅
市番・戸数	戸建・2戸
構造	木造
入居予定時期	平成27年12月ごろ

②間垣地区

防災集団移転

整備戸数	民間住宅専用宅地	3戸
	復興公営住宅	2戸
	合計	5戸
完成時期		平成27年3月
宅地供給開始時期		平成27年5月

○2015.8.15 号 各地で防災集団移転促進事業の整備等が進んでいます（石巻半島部・牡鹿地域）

③ 市報いしのまき 平成27年(2015年)8月15日号


復興公営住宅

住宅名(仮称)	大原浜住宅
形態・戸数	戸建・5戸
構造	木造
入居予定時期	平成28年度

防災集団移転

整備戸数	民間住宅専用用地 10戸
	復興公営住宅 5戸
合計	15戸
完成予定時期	平成27年9月
宅地供給開始時期	平成27年8月(完成前供給)

④ 大原浜地区


⑤ 給分浜地区

防災集団移転

整備戸数	民間住宅専用用地 14戸
	復興公営住宅 12戸
合計	26戸
完成時期	平成27年6月
宅地供給開始時期	民間平成27年6月、公営平成27年9月

復興公営住宅

住宅名(仮称)	給分浜住宅
形態・戸数	戸建・12戸
構造	木造
入居予定時期	平成28年度






⑥ 大谷川浜地区

防災集団移転

整備戸数	民間住宅専用用地 13戸
	復興公営住宅 1戸
合計	14戸
完成予定時期	平成27年11月
宅地供給開始予定時期	平成27年12月

復興公営住宅

住宅名(仮称)	大谷川浜住宅
形態・戸数	戸建・1戸
構造	木造
入居予定時期	平成28年度





明日へと響け復興のつち音

市報 いのまさ 平成27年(2015年)8月15日号 ②

各地で防災集団移転促進事業の整備等が進んでいます (石巻半島部・牡鹿地域)

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介します。



① 祝田地区

防災集団移転

整備戸数	民間住宅専用宅地	3戸
	復興公営住宅	3戸
	合計	6戸
完成時期	平成27年7月	
現地供開始時期	平成27年8月	



復興公営住宅

住宅名(名称)	祝田住宅
形態・戸数	戸建・3戸
構造	木造
入居予定時期	平成27年8月

平成27年8月(祝田A)



③ 牧浜地区



防災集団移転

整備戸数	民間住宅専用宅地	5戸
	復興公営住宅	7戸
	合計	12戸
完成予定時期	平成27年11月	
現地供開始時期	平成27年11月	

復興公営住宅

住宅名(名称)	牧浜住宅
形態・戸数	戸建・7戸
構造	木造
入居予定時期	平成28年度

② 小竹浜地区

防災集団移転

整備戸数	民間住宅専用宅地	1戸
	復興公営住宅	5戸
	合計	6戸
完成時期	平成27年7月	
現地供開始時期	平成27年6月	

復興公営住宅

住宅名(名称)	小竹浜住宅
形態・戸数	戸建・5戸
構造	木造
入居予定時期	平成28年2月ころ



第8章

③ 市報 いしのまき 平成27年(2015年)9月15日号

新施設での初競り

新施設は9月1日(火)に全面供用を開始しました。同日午前6時30分から初競りが行われ、競り人や買受人の盛勢の良い声が響きました。



2 製氷棟

製氷棟で作られた氷は、空気搬送システムで中央棟、西棟へ素早く運ばれます。



高度衛生管理型施設

人、車両の入場が管理された閉鎖型の施設で、密閉構造による風雨侵入の防止や、フォークリフトのタイヤ洗浄設備等を取り入れる等、高度衛生管理に対応した施設となっています。



サニタリールーム

荷さばき場の入口にはサニタリールームが整備され、自動ドア手前に長靴洗浄スペース等が設置されています。なお、この自動ドアは殺菌スプレーで手指の殺菌をしなければ開かない仕組みになっています。

▼荷さばきイメージ図



新しい荷さばき施設は、東棟、中央棟、西棟の3棟に分かれています。また、漁業種別ごとに「陸揚げエリア」「選別エリア」「陳列・販売エリア」「出荷エリア」に分かれ、荷さばきの各工程が管理されます。

5 西棟



見本車置き場(トラック並みゾーン)



陸送・活魚ゾーン



活魚水槽

明日へと響け復興のつち音

3 東棟



海外巻き網ゾーン

東棟と中央棟の一部は、昨年7月に完成し、供用を開始しています。

4 中央棟



定置ゾーン

市報 いしのまき 平成27年(2015年)9月15日号 ②

石巻魚市場が完成

石巻市水産物地方卸売市場石巻売場が全面供用開始となりました。

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介します



▲新しい石巻魚市場は、国内のみならず海外への輸出も視野に入れた高度衛生管理型施設です。また、上屋根の長さは旧施設の約1.4倍となる約880メートルとなりました。



1 管理棟

管理棟には、事務所スペースのほか、2階から1階荷さばき施設を見学できる見学通路や展示コーナー等が設置されました。

▼2階フロア図



▼見学通路に沿って設置された大きな窓ガラスからは、高度衛生管理型荷さばき施設の見学ができます。



▲見学展示コーナーでは、新しい市場の説明や、季節ごとに水揚げされる魚の写真等のパネルを展示します。



▲立体駐車場から管理棟2階に直接入ることができる連絡通路も整備されています。



○2015.11.15 号 新市街地の整備が進んでいます

③ 市報 いしのまき 平成27年(2015年)11月15日号



朝日へと響け復興のつち音

市報 いのまさ 平成27年(2015年)11月15日号 ②

新市街地の整備が進んでいます

市内6地区で整備が進められている新市街地の整備状況をお知らせします。

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介いたします



▲上:平成26年11月 下:平成27年11月



平成27年11月

のぞみ野 (新蛇田)



▲平成27年9月

新しいまちの名称が決まりました

新市街地の土地区画整理事業によりできる新しいまちに、市民の皆さんが親しみをもてるよう、新しい町名を決定しました。選定にあたっては、全国から町名を公募し、また、お住まいになる方々の意見をお聞きした上で、全6地区の新町名を決定しました。

地区名	新町名	新町名の意味や由来
①新蛇田	のぞみ野	県内で最も早く被災市街地土地区画整理に着手した地区であり、さまざまな方の復興への「望み」が託されている。また、住む方々が「希望」を抱き素晴らしい街を造ってほしいという願いを込めて。
②新蛇田南 ③新蛇田南第二	あゆみ野	JR仙台石巻の新駅「石巻あゆみ野駅」が設置されることや、被災された方々の復興への「あゆみ」、未来への「あゆみ」という思いを込めて。
④あけぼの北	あけぼの北	「あけぼの」には、夜が明けはじめ、空が明るんでくる。「北」には、北極星の如く針路を示してくれる、という意味を込めて。
⑤新渡波 ⑥新渡波西	さくら町	いつも穏やかで平和に暮らせる町になる願いを込め、また、中学校、幼稚園、保育所が再建予定であり、「さくら町」は子どもたちの笑顔がいっぱいの新しい町にふさわしいため。

※新町名を住所として使用できるのは、地区内全体の工事が完了したのち、確定測量や換地処分等を経てからとなります。



復興まちづくり情報交流館 北上館・牡鹿館オープン

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介しています

復興のまちづくりや地域の取り組みに関する情報等と、市民同士や来訪者との交流・懇談の場として、中央館に続き、北上館と牡鹿館がオープンしました。

また、河北地区の復興状況等に関する展示および中央館の特別展についてご紹介します。☎ 秘書広報課(内線4022・4024)



北上館

☎98-9660 FAX98-9690

【主な展示内容】

東日本大震災による被害状況や、さまざまな復興事業の情報、住民主体の復興とまちづくりへの取り組みを紹介しています。

また、震災前の暮らしや根付いた文化、北上高地と太平洋に囲まれた豊かな自然とそれらに支えられたなごみの紹介コーナーもあります。

と ころ 北上町十三浜字丸山41-2
(にっこりサンパーク入口付近)
開館時間 午前9時～午後5時
(事前に申請があった場合は午後9時まで)
休 館 日 月曜日(休日にあたるときはその翌日)
12月29日～翌年1月3日



牡鹿館

☎98-9950 FAX98-9951

【主な展示内容】

東日本大震災の被害状況や、さまざまな復興事業の紹介、震災前の歴史や文化、震災後の生活等を紹介しています。

また、金草山、御番所公園、鶴まつり等の観光情報や、牡鹿漁師学校の取り組み等を紹介しています。

と ころ 鮎川浜漁川163(おしかのれん街向かい)
開館時間 午前9時～午後5時
(事前に申請があった場合は午後9時まで)
休 館 日 火曜日(休日にあたるときはその翌日)
12月29日～31日

特別展「3.11そして未来へ」開催

☎98-4425 FAX98-4119

東日本大震災から5年に合わせ、なりわいを復旧させた人や新たな目標に向かう人をパネルで紹介しています。

【主な展示内容】

- 被災前の活力を取り戻し前に進んでいる人や、新たな目標をもって前に進む決意をした人の写真
- 直筆メッセージ(将来の夢や決意等)



中央館

道の駅「上品の郷」内に河北地区の復興事業の進捗状況等を展示しています

【主な展示内容】

河北地区の伝統や文化、東日本大震災による被害状況、復興事業の進捗等を展示しています。



開館時間 午前6時～午後10時(年中無休)

「上品の郷」内展示

○2016.4.15号 西浜町津波避難タワーなど

③ 市報 いのまき 平成28年(2016年)4月15日号

この春に完成!

明日へと響け
復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介します。

須江産業用地

沿岸部の被災企業等の移転先として整備が進められていた「須江産業用地」が完成しました。
総面積は約21万1,000平方メートル、28の事業者が進出予定です。



▼3月1日(火)には、引き渡し第1号となるマルハニチロ㈱新石巻工場の建設工事安全祈願祭が行われました。



西浜町津波避難タワー (西浜町1-2)



工業港西側の工業地域で働く皆さんの安全を確保するために整備が進められていた「西浜町津波避難タワー」が完成し、3月29日(火)に完成報告会が行われました。
津波避難タワーの完成は、大宮町、魚町一丁目、魚町三丁目につき、市内で4基目となります。



▲完成報告会の様子



▲収納型ベンチには、災害時備蓄品が収納されています。



▲簡易トイレ



▲屋上の太陽光パネルと居室内に設置された蓄電装置により、災害時には簡易電源を3日間確保できます。



▲非常時には、デジタル簡易無線機で市役所や蛇田支所に通信できます。

スマートコミュニティ推進事業記念式典

「地域エネルギー管理システム」の本格運用開始を記念して、3月24日(木)に記念式典が行われました。

式典は、新蛇田地区に東北電力㈱による「石巻蛇田太陽光発電所」の整備が完成し、また、㈱東芝による新蛇田地区復興住宅535戸への「エネルギー管理システム」の導入が終了したことにより、「地域エネルギー管理システム」の本格運用が開始されたことを記念して行われました。





▲石巻蛇田太陽光発電所には、約5,700平方メートルの敷地に、約1,200枚の太陽光パネルが設置されました。

「地域エネルギー管理システム」は、石巻市、東北電力㈱、㈱東芝が共同で取り組む「スマートコミュニティ推進事業」の一環で、市内の公共施設や防災拠点に設けられた太陽光発電設備の発電量や消費電力、蓄電量等の情報を一元管理することが可能となるシステムです。

明日へと響け 復興のつち音

第8章

-367-

復興まちづくり情報交流館 雄勝館オープン



施設はトレーラーハウス3棟(管理棟、交流棟、情報展示棟)で構成しています。

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復興の様子を紹介いたします

復興まちづくり情報交流館雄勝館が6月4日(土)にオープンしました。

開館時間 午前9時～午後5時
(交流スペース等は、事前に申請があった場合は午後9時まで)

休館日 火曜日(休日にあたるときはその翌日)
12月29日～1月3日

電話番号 25-6028

所在地 雄勝町上雄勝二丁目36

駐車場 有

☎ 秘書広報課(内線4022-4024)

復興まちづくり 情報交流館とは

東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗や、震災から得た知識・教訓等を発信します。

また、地域の皆さんや来訪者との交流の場として利用できる施設です。

雄勝館は、中央館、北上館、社鹿館に続き、4カ所目のオープンとなります。

②交流棟 (交流スペース)



▲交流棟は、多目的スペースとして、テーブルや椅子、ホワイトボード等を設置しています。また、雄勝に関連する書籍等を自由に閲覧できる「みんなの本棚」もあります。

①管理棟 (インフォメーションスペース)



▲管理棟には、館の案内等を行うスタッフが常駐しています。交流スペース使用の申し込みもこちらで受け付けします。

③情報展示棟 (情報展示スペース)



▲地域マップ：壁面に雄勝地区の地図を設置し、ブロックにリンクされた情報を簡単に閲覧できます。

▶地図上のブロックを装置にかざすと、画面に情報が現れます。



▲映像展示：写真家 吉原悠博氏による映像作品で雄勝の魅力を紹介しています。



▲情報シート：雄勝の自然、生業、食、文化、取り組み、復興情報を情報シートで閲覧できます。

「おがつ店こ屋街」移転オープン

おがつ店こ屋街は、被災した雄勝地区の商店街の店主等による仮設商店街です。旧雄勝総合支所敷地内で営業していましたが、防衛施設整備や国道新設工事等に伴い、復興まちづくり情報交流館雄勝館の隣地に移転し、6月4日(土)に雄勝館の開館記念式典と併せて移転記念式典が開催されました。

☎ 雄勝総合支所地域振興課 ☎57-2111



▲コの字型に配置された3棟の中央部は、交流テラスとなっています。

○2016.8.15号 地域コミュニティの再生

③ 市報 いしのまき 平成28年(2016年)8月15日号

地域コミュニティの再生

明日へと響け 復興のつち音

東日本大震災によって離ればなれになってしまった町内会の再編や、集団移転先等での新たなコミュニティづくりに向けた取り組みが各地で行われています。

このコーナーでは、石巻の復興や震災の様子を紹介します。



渡波地区

7月17日(日)渡波1号公園

新渡波地区で住民の交流イベント「太陽まつり」が開催されました。今年は、地元町内会が復興公営住宅に入居した皆さん等を歓迎するために新市街地を会場に行われ、集まった約300人の新旧住民の皆さんは、焼きそば等の屋台や、ミサンガづくり、ゴム鉄砲の射的コーナー等を楽しみました。また、地元の鹿嶋相模会による獅子舞披露もあり、地域の発展を願う勇壮な舞いが会場を沸かせていました。



門脇地区

6月5日(日)まねきの家(門脇町二丁目)

区画整理事業や復興公営住宅の建設が進む新門脇地区で、「かどのわき町内会」の発足式が行われました。津波被害の大きかった同地区には、震災前5つの町内会がありました。人口減少や町内会の解散等により活動の継続が困難となったため、各町内会を統合した新たな組織として発足しました。当日行われた懇親会では、地区の皆さんによって踊り等の余興が繰り広げられ、会場は新たな町内会の発足を祝う楽しい喜慶気に包まれました。



市では、コミュニティづくりに関する支援を行っています。

コミュニティづくり支援事業

町内会や自治会組織等を対象に、地域づくりやコミュニケーションづくりを推進するための交流イベント等の実施事業に対し助成しています。

助成額 1団体 上限10万円
事業例 夏祭り、地域清掃、運動会等

復興公営住宅コミュニティづくり促進事業

住民自治組織が主体となり、復興公営住宅入居者と近隣住民との交流を図るため実施する事業に対し助成しています。

助成額 1団体 上限10万円(1回限り)
事業例 歓迎会、交流会等

申請先：地域協働課(内線4236)

蛇田地区

7月23日(土)蛇田中学校

新蛇田地区の皆さんを対象に、自治会形成に向けた住民懇談会を開催しました。会場には約220人の皆さんが集まり、自治会設立の必要性に関する市の説明のほか、石巻警察署から防犯面での自治会活動の意義等に関する説明が行われました。今後は、住民同士の交流を深めながら設立に向けた準備を進めていく予定です。



明日へと響け 復興のつち音

③ 市報 いしのまき 平成28年(2016年)9月15日号

5～7階 病棟



▲緩和ケア病室
7階には、石巻地域で初となる緩和ケア病床20床を設置しました。全室個室で、身体や心の苦痛を和らげる治療やケアを行います。患者さんや家族がくつろげるように、ユニットバスやキッチンを備えた病室も用意しました。



▲ダイニング



▲介助浴室



▲スタッフステーション

面会時間
午前11時～
午後8時



▲4床室
病室は個室と4床室を備え、4床室は1人あたり8㎡以上の広さを確保したゆとりのある造りになっています。

2～4階 総合案内・外来診療室・手術室等



▲2階エントランスホール
災害時には患者収容スペースとして利用します。



▲自動再来受付機



▲総合案内・総合受付



▲手術室



▲自動精算機

最新の医療機器を導入



磁気共鳴断層撮影装置 (MRI)
X線を使用せず、磁気と電波を使用し、人体の任意の断面の断層像を得る画像診断装置です。
最新の1.5T MRIを採用。脳、脊椎、関節、腹部等、全身の撮影が可能です。



血管造影装置
血管内に造影剤を注入することで、血管内の小さな病変を見つけ出すことが可能であるほか、心臓血管、腹部血管等に対して、造影検査や血管内治療といった複数の処置が可能です。多目的に使用することができる装置です。



X線CT
X線を使用し、人体の断面画像を得る画像診断装置です。
最新の80列マルチスライスCTを採用。撮影時間が短く、広範囲の撮影が可能です。骨系や造影検査による心臓CT等の血管系の3次元画像構築や大腸CT等の撮影が可能です。

お願い

- 整形外科の受診には、紹介状と予約が必要です。
- 整形外科の診療は、月・木・金曜日のみとなります。
- ※ 火・水曜日は手術の日となります。
- かかりつけ医等がいる場合は、できる限り紹介状をお持ちいただけますようご協力ください。
- 旧市立病院、開成仮診療所の診察券をお持ちの方は、受付時に提出してください。新しい診察券を発行します。

1階 駐車場・駐輪場



一般駐車場
入り口



駐輪場
入り口

駐輪場出口は、水戸橋側にあります。



▲ 駐車場内には、タクシー乗り場もあります。

明日へと響け復興のつち音

市報しいのまき 平成28年(2016年)9月15日号 ②

市立病院が 開院しました

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介します



市立病院の概要

敷地面積	9,038.67㎡
延床面積	23,920.50㎡
構造	免震上部 鉄骨造 免震下部 鉄骨鉄筋コンクリート造 ※1階と2階の間に免震層を配置
病床数	一般病床 140床 (うち緩和ケア病床20床) 療養病床 40床

診療科目(6科)

内科、外科、整形外科、
放射線診断科、麻酔科、
リハビリテーション科

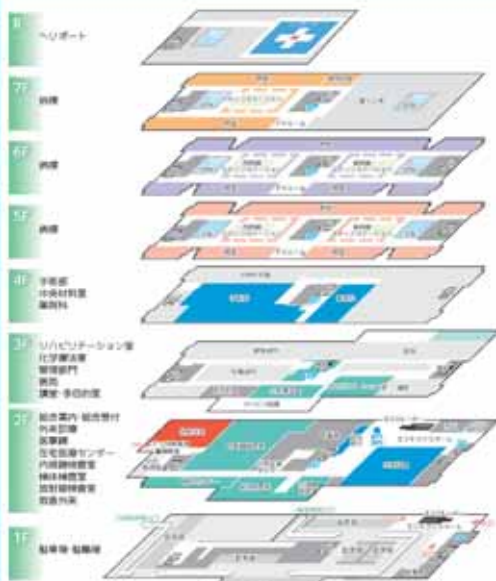
外来診療受付

初診の方 午前8時～11時
再診の方 午前8時～11時30分
診療開始時間 午前9時

※土日・祝日および12月29日～
翌年1月3日は、外来診療が休診
となります。



フロア案内図



※診療時間外(平日午後5時～翌日午前8時および休日)に来院される場合は、立休
駐車場3階病院連絡通路から入館ください。

9月1日(木)オープン

東日本大震災により甚大な被害を受けた市立病院が、交通の要所であるJR石巻駅前に、医療復興のシンボリックな施設として開院しました。

東日本大震災を教訓に、災害時でも機能する病院として再建しました。「市民にひらかれた病院」をコンセプトに、各医療機関との連携をより強化し、本医療圏において切れ目のない医療供給が実現できる体制の構築を目指します。



▲9月1日(木)開院当日



▲8月11日(木・祝)内覧会

8月10日(水)開院記念式典



市立病院経営企画室 ☎25-5555

③ 市報 いしのまき 平成28年(2016年)11月15日号

既成市街地の整備 が進んでいます

**明日へと響け
復興のつち音**

このコーナーでは、石巻の復興や震災の様子を紹介しています



中央一丁目地区 被災市街地復興土地区画整理事業

中央一大通り(旧市役所大通り)を中心とする中央一丁目地区は、東日本大震災により甚大な津波被害を受けました。街なか居住の再生や商店街の街並みを取り戻すため、被災市街地復興土地区画整理事業による整備を行いました。

街並み委員会

中央一丁目地区では、地域が中心となって勉強会(街並み委員会)を重ね、大学の先生や街づくり会社、行政が一体となってまちづくりを進めてきました。

勉強会は、平成25年から計23回開催し、まちづくりに取り組んできました。



▲勉強会の様子

「やさしいみち」の実現に向けて

災害にも強くしなやがで、誰もが安心して使える、温かみと気軽さ、活気のにじみだすみち。



▲バリアフリーに配慮して車道と歩道の段差を無くし、また、ライトブラウンの平板ブロックを敷設することでぬくもりを持たせました。



道路の拡幅

整備前は歩道を含めて幅員10mでしたが、整備後は17mに拡幅。車道10m、その両側に各3.5mの歩道を設置しました。

災害発生時には、日和山への避難道としての利用が期待されます。



▲みんなで作るコミュニティマップマップには、気になる場所やお気に入りの場所、知りたいこと、困っていること等が書かれた付箋がたくさん貼られました。



▶新しい街並みの完成を祝い、多くの方々が集まりました。

▶餅つき大会や芋煮の振る舞い、子ども商店街等、住民同士の交流イベントも行われ、にぎわいました。



▲テープカットには、石巻のご当地ヒーロー「シージュッター海斗」も参加。



▲石巻小学校鼓笛隊によるパレードや、同校の伝統歌「だるまの歌」の合奏も行われました。

中央二まちびらき
道路の拡幅工事が完了したことを記念し、10月22日(土)に「まちびらき」を行いました。

明日へと響け 復興のつち音

○2017.2.15 号 雄勝・北上・牡鹿地域の復興事業の状況

③ 市報 いしのまき 平成29年(2017年)2月15日号

雄勝・北上・牡鹿地域 復興事業の状況

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介します。

震災により著しく人口が減少している半島沿岸部では、総合支所を核としたエリアに、行政、商工、観光機能を集約したコンパクトシティ化を進めています。

今回は、雄勝、北上、牡鹿地域で進めている拠点エリア整備の進捗状況等をお知らせします。

市立医療機関の全てが復旧



**「雄勝診療所」、
「雄勝歯科診療所」開所**

1月16日(月)、小島地区に整備を進めていた雄勝診療所および雄勝歯科診療所が開所しました。

雄勝地域では、市立雄勝病院等が震災によって全壊となったため、これまでは仮設の診療所により診療が行われていました。

両診療所の開所により、被災した市立医療機関の全てが復旧しました。

雄勝地域

雄勝地域では、伊勢畑地区を早期事業化エリアとして、住宅地、総合支所、公民館、警察、消防、商業、体育施設等を配置する計画で整備を進めています。

住宅地については、平成27年8月から造成工事を開始し、本年6月の宅地供給開始を目指し整備を進めています。



平成28年12月



平成27年9月



平成27年9月



平成28年12月

北上地域

北上地域では、にっこりサンパークとその周辺に、住宅地、総合支所、公民館、警察、消防、学校施設等を配置する計画で整備を進めています。

住宅地については、平成28年3月から宅地の供給を開始しています。



平成28年12月



平成27年7月



平成27年9月

北上地区フィールドミュージアム

**「川のビジターセンター」、
「北上観光物産交流センター」建設予定**

北上地域は、環境省によって南三陸町戸倉地区や登米市津山地区とともに「フィールドミュージアム」として位置付けられ、十三浜に自然体験プログラム等の提供を行う施設「川のビジターセンター」が整備されます。

また、市では、同施設の隣に、北上地域の観光の拠点となる「北上観光物産交流センター」の整備を予定しています。同センターは平成29年内のオープンを目指しています。



金華山休けい所の復旧

「金華山休けい所」建設中

金華山では、震災により被災した施設に代わる新しい休けい所の建設工事が行われています。

新しい施設は、鉄骨造平屋建てで、延床面積約360㎡です。今春の開業を目指し整備を進めています。



牡鹿地域

牡鹿地域では、鮎川浜地区に、捕鯨文化の展示施設、商業施設、旅客船関連施設等を集約し、牡鹿地域の観光の拠点とする計画で整備を進めています。



平成26年11月



平成29年1月

復興の進捗状況等については、ホームページからご覧いただけます。
URL <http://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0110/d0080/index.html>



明日へと響け 復興のつち音